

総務教育常任委員会資料

(平成22年8月20日)

〔件名〕

- ・平成22年度第2回次世代改革推進本部の開催について
【県政推進課】・・・1
- ・県政顧問の任命について
【県政推進課】・・・2
- ・県民発想による広報の新展開（「まだまだあるある！鳥取・新発見☆」
募集事業）について
【広報課】・・・3

統 轄 監

平成22年度第2回次世代改革推進本部の開催について

平成22年8月20日

県政推進課

政策項目を着実に推進し、県政課題に対して庁内横断的に施策を実施・展開する「次世代改革推進本部」について、本年度第2回目の会議を8月9日に開催しました。

1 本部の構成員

本部長	知事	
副本部長	副知事、統轄監	
本部長	教育長、警察本部長、病院事業管理者、企業局長	
	知事部局各部局長、各総合事務所長	計23名

2 議事内容

(1) 政策戦略会議の設置について（別添：資料1）

県政の戦略・方向性を翌年度の予算に反映させる施策立案を行うため、次世代改革推進本部の中に「政策戦略会議」を設置し、政策主導型の予算編成と予算編成作業の効率化を図る。

(2) 課題解決型プロジェクトチームの取組状況について（別添：資料2）

4月に開催した次世代改革推進本部会議で設置された14の課題解決型プロジェクトチームの、これまで4か月の取組状況を確認するとともに、今後の取組方針等について意見交換を実施した。

(3) 政策項目の進捗状況について（別添：資料3）

各政策項目について3年目の自己評価を行い、さらに努力が必要な項目について、今後の対応・取組方針について意見交換を実施した。

＝政策項目（88項目）の評価状況＝

A（既に実現した政策項目）	11項目
B（順調に進んでいる政策項目）	62項目
C（少しずつ目標に近づきつるある項目）	10項目
D（さらなる努力が必要な政策項目）	4項目
E（達成状況の確認が必要な政策項目）	1項目

県政顧問の任命について

平成22年8月20日
県政推進課

県政顧問について、平成22年8月1日付けで新たに任命（任期：～平成24年7月30日）を行いました。

1 任命した県政顧問（継続6名、新規3名）

[五十音順、敬称略]

区分	氏名	役職	所在地	歳	出身	備考
継続	おくだ つとむ 奥田 務	J. フロントリテイリング(株) 代表取締役会長兼CEO	東京都中央区	70	三重県 津市	鳥取大学監事 (平成16年4月～)
継続	かじな けいいち 梶田 毅一	環太平洋大学学長	岡山市東区	69	米子市	
新規	かどがし たかし 門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科教授	東京都文京区	57	東京都	父が鳥取県出身
継続	さわ しろう 澤 志郎	日本交通㈱取締役社長	大阪市西区	59	岩美町	
継続	しもむら すすひろ 下村 節宏	三菱電機㈱取締役会長	東京都千代田区	65	伯耆町	
新規	たがわ ひろみ 田川 博己	㈱JTB代表取締役社長	東京都品川区	62	東京都	NPO 法人日本エコ・ツーリズム協会副会長
新規	はやしだ ひであき 林田 英樹	独立行政法人国立美術館 国立新美術館長	東京都港区	68	鳥取市	
継続	みやげ みさ子 三宅 美佐子	㈱女将塾大女将	東京都豊島区	67	鳥取市	
継続	こめはら かずひで 米濱 和英	㈱リンガーハット代表取締役会長 兼社長	東京都大田区	66	鳥取市	

2 今後の予定

*新規任命顧問を中心として、個別に県政顧問会議を開催予定（9月上旬目途）。

*会議テーマについては、以下項目などを想定。

- ・「国内外の誘客対策（エコ・ツーリズム、まんが王国、韓国ドラマ「アテナ」の県内ロケ等を契機とした）」
- ・「生活習慣病予防など健康長寿鳥取県に向けた取組」
- ・「アーティストリゾートの推進」 など

*なお、継続任命顧問についても、適宜開催予定。

【参考】県政顧問制度について

- 設置目的 県政の重要課題について幅広い見地からの助言
- 制度概要 [根拠] 鳥取県県政顧問設置規則
[任期] 2年（再任可）

県民発想による広報の新展開（「まだまだあるある！鳥取・新発見☆」募集事業）について

平成22年8月20日

広 報 課

訴求力のある斬新な情報発信を実現するとともに、これまでの取組みを点検するため、鳥取県の情報発信にかかるアイデアを広く募集しています。

1 ねらい

現状では、本県の認知度が低い中、新たな視点から県内の地域資源や素材を掘り起こすとともに、県民が地元を見つめ直すきっかけとすべく募集事業を行う。

その応募結果を活用し訴求力のある手法を用い、県民とともに本県の魅力を発信していく。

2 募集内容

① 知られざる魅力

鳥取県のまだ知られていない穴場や食べ物、鳥取県ならではの時間や出会いなどの魅力を、理由やエピソードを交えて募集

② アピール方法

新たな視点、発想による情報発信手法

3 表彰等

ユニークな情報などを表彰し、県ゆかりの賞品を進呈

その他抽選で応募者に対し記念品進呈

4 今後のスケジュールと展開

9月末 応募締め切り

11月下旬 審査会、審査結果等発表

- ・ 応募結果全体の県民への情報提供
- ・ 応募された内容を利用した新たな情報発信の展開
- ・ 今までの情報発信手法の点検と訴求効果の高い新しい手法での広報活動展開